常磐文藝

兄妹の死

飯村 閑舟

堪ね兼ねて泣きそべる
N會社の寢室に兄は妹の
危篤を氣つかへつゝ
嘆息を洩らす、物悲し
妹の哀愁
妹の
瞳は外れて
視線は虚と空に
竟に永久の眠りとは
就きにける。 物悲し

□募集 文藝其他一般投稿を歓迎します

天授いつか
兄の身邊を襲ひて
繼ぐ兄妹の線血を奪つて
遠滅に伏せり、物悲し
人望の燃ゆる血汐
愛の道
ともゝ紅の灯を點じて
消ねし兄妹の死、物悲し
徒らに
人生の眞愛を捨棄して
茫然と送る冗費の我は
兄妹の前に如何に詫ぶべき 物悲し
兄妹よ
露土の下に
我等の身を安逸に守れ
永久に守れ
しかして、すごやかに
兄妹抱合つて
永劫に眠れ 物悲し

良品廉賣に優る商略なし

平町五丁目
和洋銅鐵
金物問屋 ㊁ 釜屋商店
電話（九番）（一三九番）

▼外交員募集▲
◇業務簡易月收百圓以上の收入あり
◇各自宅に在りて本店との連絡が取れます
◇御希望の方は履歴書持參の上御來談あれ他に優遇の方法あり
福島縣磐城株式會社
平代理店
現物賣買株式店
大谷保太郎商店
平町南町二〇（公會堂角）
電話圓三三四番

看護婦派出の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

毒氣ある身體にて
困りの御方は
毒退丸の効能を
試みられよ！!!
効能としては梅毒、痔病
胎毒、淋病、消渴、僂麻
質斯等凡て毒氣ある身體
に特効あり
石城郡內郷村小島
毒退丸販賣本舗
山下重愛堂
◇其他全國到る處に特約店あり

製材機械、人魚印丸鋸
自動注油メタル、ブーリー
ゴムベルト、バラタベルト在庫
平町月見町
佐藤鐵工所
電話三六二番

銘酒 白菊
沖正宗
味噌醤油
平町字材木町
（元矢吹酒店跡）
玉川屋支店
電話四二八番

從來三丁目新道通に
開業致居候處今回營
業擴張の爲め前記の
如く元矢吹酒店跡に
移轉開業仕候間倍舊
の御贔負願上候

割引券
此券持參の方に限り移轉披露の爲め特に
一二割引
にて販賣致します

廣告
本社及本會は總會の決議により解散仕り候間此段廣告候也
追而廣告研究會入會金は御返戻致すべく候
大正十二年十二月十四日
平町紺屋町
正喜社
廣告研究會

株式
賣買中値
左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候
銘格 拂込 時價
磐城銀行 五〇〇圓 五七〇圓
平銀行 五〇〇 六八〇
磐越銀行 一二五 一〇五
磐城實銀 三〇〇 三〇〇
田村實銀 一二五 一二五
四倉銀行 一二五 一二五
農工銀行 二〇〇 二五五
同 新 一五〇 一九〇
第七銀行 五〇〇 五三〇
同 新 一二五 一四五
七七銀新 一二五 九五
郡山電氣 五〇〇 三七五
同 新 二五〇 一七五
只見川電 一二五 六三
植田水電 一二五 一三五
好間水電 一二五 一三五
磐城建物 一二五 五五
磐城製菓 二〇〇 六五
平信託 五〇〇 四五〇
磐城勧業 一二五 一三五
磐城物産 三〇〇 二五〇
平製氷 二〇〇 二〇〇
好間軌道 五〇〇 三五〇
小名商事 一二五 ……
小名水産 一二五 ……
小田炭礦 二五〇 五五
磐城炭礦 五〇〇 三七五
同 新 二二五 一五〇
磐城セメント 五〇〇 九一〇
同 新 一二五 三一〇
賣買誠實懇切機敏に御取扱申候間多少に不拘御用命願候
平町田町電話三二二番
丸登株式店
川添房二郎

大正十二年十一月十日第三種郵便物認可（一）

定價
一部金貳錢 月極
ニ限リ一ヶ月卅錢

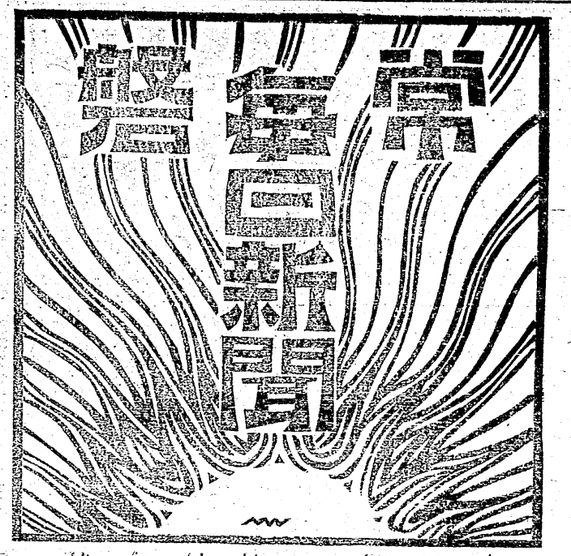
廣告料
五號十三字詰
一行五十錢

休刊日
毎日曜 大祭日 祝日の翌日

印刷所
福島縣石城郡平町田町十六番地
磐城新聞社印刷部

發行兼編輯人印刷人
川崎文治

發行所
福島縣石城郡平町字長橋町卅五番地
常磐毎日新聞社



十二月十四日夕刊

新聞製作者としての川崎君（六）

磐城新聞 柏木 哲

眞に記者として
克己自制の勇者

川崎君が新聞記事の掲載に方つて之を心理學的に考査し或は對社會的反響の大小如何を檢覈考量し敢て細心周致なる注意を懈こぬことは上來述べたる如くで而も小なる範圍の出來事をそれと全然區域を同じうする小範圍の人に讓まする地方新聞として常に珍奇清新を信條とするが至當なるに拘らず對社會的に何等かの比較研究を行ひたる上一部に於ては蓋し絶好材料と目すべきものも恬淡として顧みぬ敬虔なる態度を見るに至つては吾人地方記者たるものの全幅の敬意を表せざらんとするも能はざるものがある、而して氏が記者として所謂克己自制の勇者たることは氏が新聞製作者たると同時に一箇の經營者として多く賣らねばならぬ立場にある事によつて一層之を痛感せしめらるゝのである、何となれば如何にして多く賣るべきかは當然の結論として如何にして珍奇なる報道を爲さんか換言すれば如何にして他の意表に出づる新聞を作らんかと云ふ問題に逢着するに拘らず氏は徒に新聞紙を以て椽の下の黴菌を滅殺する一箇の日光消毒と心得ず賜ら惡爭醜行の摘發より善行美事の報道を最先とするが如き勇敢なる態度に出でつゝあるからである。

要之、徒に煽情過激の論調を以て自ら快とする所謂『黄色新聞主義』は川崎君の絶對にゝらさる處で私の川崎君を以て地方新聞界の先覺者とする所以である

オモチヤの樣だと非難の多い新切手

來春頃に復又改正の模樣　今度は糊もミシンもある

震災後に遞信省が改正した糊なしミシンなしの新郵便切手は新ハガキと同じ樣に不便でたもちやのやうだと の非難にたへ兼て又々新切手を發行すべく圖案の考究中であるが森平郵便局長の談に依れば「今度の新切手は新時代に適應した權威める意匠で紙質も從來のより上等の物を選び糊づけは勿論もとの如く印刷も今のオフセツトを凸版と凹版に改善しのりもミシンも入れ發行は燒けた印刷局の能力が復舊した上だから早くも來春二三月頃と傳へられて居る」との事である

平林區署から復興材搬送

川部國有林の

平小林區署では帝都復興の爲め九月中石城郡川部村國有林から丸太千石、を勿來驛から輸送したが十月中には千六百石去月中からは杉丸太千五百石を伐採中であると

產業組合にて功勞者表彰

石城郡產業組合は來る廿七日午前十時から郡衙にて總會を開き組合功勞者を表彰する由

僧侶が雇女を魔窟に賣らんと企む

九年間卅七圓の最上ツ子を▽……早くも平署が探知

石城郡高久村大字上山口字寺澤僧侶佐竹無得（五三）は九ヶ年間卅七圓の約定で山形縣北村山郡東根村大字宮崎四女向地ユツ（一六）を女中に雇入れたが去る七月中ユツを連れ出し同郡江名町飲食店大川セン方に百圓にて賣飛ばさんと企らんだ事平署の探知する所となり柴田警部補取調べの上本日檢事局に送らる

性源寺に於て鈴蘭談話會

平町鈴蘭會にては明十五日午後六時から性源寺に於て談話會を開き會員の演說に次いでルーテン語會話、ヴアイオリン合奏、落語、琵琶等の餘興ある筈だが會員の演說は左の如くである

感違ひに見違ひ（小松小哲）未定（村上成長）太陽より我生活に入れ（生田弘二）慘な者の呻き（寒風澤國治）黎明の叫び（富岡武雄）新しき世界は開展しつゝあり（宗像俊二）汝のスタートを切れ（渡邊啓）小さき者より（岡部達雄）男子は責任を回避せず（阿部治平）饅頭の中より（植頭憲太郎）

正喜社は解散す

東京各新聞の膽煎で圓滿解決した

磐城時報社長佐藤作平氏は廣告取次を營業とせる正喜社及び新聞廣告を壟斷せんとするが如き傾きあつた廣告研究會を設けた爲め同業者間に物議を釀し結局磐城時報を除く平町の日刊四新聞は聯盟して營業妨害の告訴を平署に提起する事となつたが國民新聞記者平谷政喜氏其他東京新聞平支局記者調停に入り兩者間を種々斡旋奔走の結果本日佐藤氏は正喜社及び廣告研究會を解散し申込金五圓は直ちに各加入者に返戻すべき旨を聲明し磐城時報及び平町日刊四新聞に右の旨の廣告を爲し玆に圓滿解決を告ぐるに至つた爲め四新聞は調停者の意を諒として告訴狀を取下ぐる事となつた

四倉校敷地

敷地買收纏る

石城郡四倉町小學校增築に關しては既記の如く舊墓地と決定したのであつたが紛爭を生じ是れを放棄し隣接せる大野街道筋の耕地を買收して敷地とすべく[illegible]町營局及び[illegible]格[illegible]

馬車輓が道路の修繕

赤井の村道を

石城郡赤井村大字西小川から大字赤井に通ずる村道は元郡道であつたが其後修理しない爲め車馬の通行至難に陷り同村荷馬車輓業者が寄々協議中の處去る十三日早朝から同業者が全部出勤して改修工事に着手した

玉川屋の擴張

清酒及び味噌醬油販賣玉川屋支店は三丁目新道に店舖を有して居たが營業擴張の爲め材木町元矢吹酒店跡に移轉

眞面目な性慾問題

臟器に刺戟（二十二）

四肢共に女の方が細くて圓味が勝つ、男子の剛に對して凡て柔である。姿勢に於ても女子の体軀は自ら前に屈み或は璽直か若しくは少しく後屈する。但し此は米國の婦人には當てはまらない、米國では婦人は足を外輪に運んで堂々と反り返つて步行する、男子は悉く據を割り荷物を引き受けて、溫順に稍前へこゞむで行く、此が夫婦和合の圖である、此の婦唱夫和の米國では女性の解剖學も少々改訂されねばならぬことゝ思ふ。斯く女は女らしく男は男らしく出來上るに就ても、其中心勢力は之を生殖器官に求めねばならぬ、生殖器官の中樞は卵巢である。此の卵巢は人間の芽を育てると同時に人間の新成に向つて必要な凡ての準備を用意する、卵巢は單細胞を作る以外に一種の內分泌を營む、此內分泌液は血液に混じて全身を歷巡し、各種の臟器に必要な刺戟を與へて其の發育を促すのである　（續）

逃げた半玉

久本の久丸

[illegible]新田町藝妓屋久本の半玉久[illegible]岸よし（一二）は昨日午前十一時十八分平驛發上り列車にて逃走したが土浦驛取締市川巡査に捕はる

不平受付

投書歡迎

●●●●●匁不足の毛糸　毛糸の値段は昨年と同樣一オンス廿五錢ですが商店で實際賣つて居る一オンスは夫れだけの目方がありません、目方を切らして賣つてるのです惡い事だと思ふが取締つて戴けませんか（質問女）

▼伊藤平署長の答……投書の趣きでは果して何處の店が目方をきらしたか不明ですが勿論不法行爲ですから捨て置けません

常磐片々

○新切手は非難が多いので出直しと決定

○但し遞相は出直さずに居直る由

○僧侶が百圓の爲めに最上ツ子を賣飛ばそうとした

○是れを眞の賣僧と云ふ

○地震後の東京が見たいばかりに久本の半玉が逃げた

○正喜社解散、正氣に返つたのである

○四倉小學校は墓地に增築する筈であつたが平町の菩提院問題を範として沙汰止み

○荷馬車輓が『俺れ達の壞した道路だから……』と修繕工事に着手

○直しても又壞すんだから同じ事

稲生署長榮轉

東京大林區署へ

平小林區署長稲生隆策氏は昨日電報にて東京大林區署林課伐採部長に榮轉の旨通知あつたが同氏は大正六年赤門出の林學士である爲め十六日午後六時から谷口樓にて石城學士會の送別會ある由

一善一美

（投書募集）　區營ノ製板所

石城郡永戸村合戸區長荻野譽男氏は三期に渉つて區長を勤務中國有林の[illegible]れ損立木を始め薪炭用材の特賣を始め區の爲めに獻身的の努力を拂つた結果是等の山林關係より生じた利益金が三千二百圓の巨額に達した爲め區民の意嚮を開いて之れを資金とし區營の製板所及び精米所を建設する事となり夫々委員を擧げて準備中であるが良區長として區民より感謝の的となつて居る

訓導の感謝狀

元磐崎尋常高等小學校訓導杉山勇馬氏は在職中の功に依り本日香坂知事から金卅五圓と共に感謝狀を贈られた

平裁判だより

□暴行男は罰金　平町立町菓子製造職工北川晴四郎（三三）は隣家の子供が自家飼養の鷄を傷害したとて暴行を働き略式罰金五圓

平町人事

▲出生

△田町　關內保太郎二男民衛

△仲間町　佐藤六三郎五男賢治

△新川町　國井勝榮三男壽男

△鎌田町　鈴木光吉五男滿光

△一丁目　綿引秀親の四男央郎

▲死亡

△新川町　大和田貞衛（一〇）

△長橋町　佐藤はる（三八）

△田町　高木婦佐子（四七）

▲婚姻

△久保町　荒川千代造（二五）久保町遠藤よしい（二二）